



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



第1160回例会 2015年4月15日 No.1129号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

こんにちは。ごきげんいかがですか。お変わりありませんか。大場常幸くんが元気に復帰されました。また、入院されていた下田敬三さんが本日の例会に元気なお姿を見せて下さいました。お二人の一日も早い全快を祈念いたします。それにしても、今年に限らないと思いますが、いろんな事故や出来事が毎日のように惹起されています。昨日午後8時ころ、広島空港でアジアナ機の着陸事故が

発生しました。乗客23名、乗員2名が負傷をしたということで、死亡された方がいなかったのがせめてもの幸いでした。ひとつ間違えると大惨事に発展するところでした。関与されている方々の危機管理についての意識の緩みを感じます。この点は、飛行機事故に限らず、いろんな事故についても同様です。最後のところで、ヒューマンエラーを招かないようにすることが大切だと思います。また、今日の新聞によりますと、昨日14日に福井地裁(樋口英明裁判長)が、関西電力高浜原発3、4号機の再稼働差し止めを申立てた仮処分事件で、原発運転禁止の仮処分を認めた記事が載っていました。これも大問題です。判決によると、「新規制基準は緩やかすぎ、基準に達しても安全性は確保されない。合理性を欠く。」と述べています。この点は今後大きな議論をよぶことになるでしょう。産経新聞には、「司法の暴走」とまで指摘していました。それと、さる4月14日、国際ロータリー2710地区グループ6、7の東良輝ガバナーエレクトを囲む次年度会長・幹事懇談会がリーガロイヤルホテルで開催されました。当クラブから、小川嘉彦くん(次年度ガバナー補佐)、瀬川長良くん(次年度ガバナー補佐付幹事)、高野憲一郎くん(次年度幹事)、それと、次年度会長の川中敬三くんならびに次年度副会長の武田龍雄くんの代理として私の4名が出席しました。東良輝さんは、宇部西ロータリークラブ所属で、職業分類は整形外科医です。東良輝ガバナーエレクトは基本方針として、「ロータリーの基本に戻ろう」とうことと、また、ガバナー信条として「ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう」ということを掲げられています。何やら、今年度の当クラブの会長方針である、「原点に還って奉仕を実践しよう」ということに似通っていて共感しました。さて、本日の卓話は、大竹ロータリークラブ会員の日域学様にお願いしました。日域様は、浄土真宗本願寺派頭徳寺の住職さんで、職業分類は、宗教家です。卓話のテーマは、「ロータリーと仏教」です。ロータリーのことについて学んでいきますと、ロータリーはキリスト教の教えを強く受けているように思います。日本は、元来宗教については寛容な国柄ですので、私たちはキリスト教にこだわることなく、日本流のロータリーを目指してゆけばよいのではないかとも思います。換骨奪胎ということがいわれていますが、仏教の教えを学ぶことにより、日本なり、ないし私たちなりのロータリーを考える機会になれば、と思います。ご静聴をお願いします。

今回の例会(4月22日)

来賓卓話
尾藤 廣喜 様

次回の例会(5月13日)

会員卓話
永岡 満 会員

出席報告 (例会運営委員会)

4月15日(水)出席者	
会員総数	56名
出席会員	38名
欠席会員	18名
ご来賓	0名
ご来客	2名
ゲスト	0名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

4月15日(水)出席者	
広島東南北RC	1名
広島北RC	1名

幹事報告 (賀谷幹事)

- BOX配布物
 - ・「会員名簿記載事項の確認」をボックス配布しておりますので、確認されましたら、お帰りの際受付に提出して下さい。5月7日(水)までに提出下さいますようお願いいたします。
- 例会変更
 - ・広島廿日市RC「創立20周年記念式典並びに祝賀会」
【とき】5月15日(金) 18:00～【※5/18(月)の変更】
【ところ】ホテルグランヴィア広島 4階「悠久の間」

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

ゲスト卓話

大竹ロータリークラブ

日域学(じついきまなぶ)様

今日は、私は大竹ロータリークラブより参りました、日域学と申します。本業は、浄土真宗の寺の住職です。おそらく昨年の4月の次年度ガバナーを囲む会に会長代理で出席した時に、渡部会長とお話しさせて頂いたことが御縁で卓話のご依頼を受けたのだと思います。

「ロータリーの精神と仏教の精神について」という内容で話をというご依頼ですが、本題に入る前に少し仏教の現状についてお話しします。世界には世界宗教と言われる宗教が三つあります。古い順に言えば仏教(約2,500年前)キリスト教(2,015年前)イスラム教(約1,400年前)ですが、信者の数で言うとキリスト教(20数億人)イスラム教(16億人)なんと仏教は4億人を切っています(池上彰は4億人、ある本は3億7千人といわれています。)世界宗教ではありませんが、インドのヒンドゥー教は9億人います。(仏教徒が減少していった理由、戦争が弱い)数少ない仏教国の中で、多くの仏教徒をかかえているのが日本です。(日本仏教の現状に思いをはせて下さい。)



さて、ロータリーの精神といえ、(本題に入らせて頂きますが、私はロータリーに関しては、不勉強で、その精神について語ることは出来ませんが。)私なりに奉仕の精神だと思っています。次年度の国際ロータリーのK. R. ラビンドラン会長のテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。スリランカの人なので、恐らく仏教徒だと思いますが、先月の会長エレクト研修セミナーの資料にも、「与える事の大切さ」を仏教的な表現を交えて書いておられました。「私たちの人生には、何時か終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったよりも早く来るものです。私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のこともありません。結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。私たちは皆、この世に生まれ、何でも掴み取ろうとしますが、この世を去るときには全てを遺してゆきます。

ロータリーはシカゴで誕生したので、その精神の根幹はキリスト教でありましょうが、奉仕と同じような意味合いの言葉を仏教で探せば、「布施」になると思います。(布施は坊主が汚した)布施は仏教において特に大切な行で、掴み取ったものを離す訓練だと考えて下さい。

奉仕は非常に積極的なイメージですが、布施は大変控え目なイメージです。(許すキリスト教は積極的、仏教は？ 娑婆の話)

その微妙な違いを次の二つの話で味わって下さい。新約聖書の「マルコ伝」に、ある人がイエス様に「永遠の命を受けるためには、何をなすべきか」と尋ねるとイエス様は、「帰って、持っている物をみな売り払って、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を持つようになろう。」と言われました。すると、彼は顔を曇らせて、立ち去った。なぜなら、彼は資産家だったのです。

仏教といえ、私の場合は浄土真宗の立場ですが、親鸞の弟子の唯円(ゆいえん)の著と言われている「歎異抄」に、唯円が師の親鸞に「念仏もうしても、とびあがるほどの信仰のよろこびが沸いてこない」と決死の思いで告白すると、親鸞はその立場を否定せず、「私にも同じ疑問がある」と答え、そのあとに「なごりおしくおもえども、娑婆の縁つきて、ちからなくしてをはるときに、かの土へはまいるべきなり。」「しがみにしがみついて、そして、しがみつくだけの力がなくなった時、浄土に住けるのだ」と教えられました。

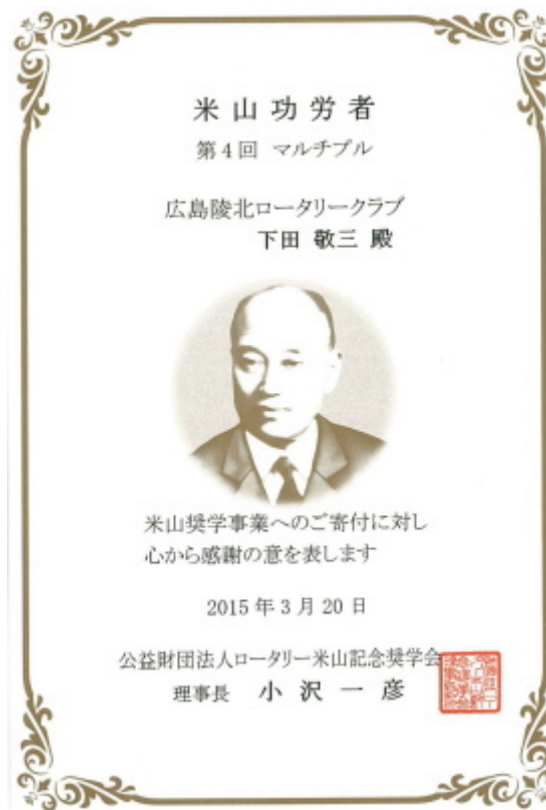
日頃から持っている物を手放す訓練をするのが布施という行です。同じ奉仕でも相手のためにするのではなく、私自身のためにさせて頂いていただく并接受っていくのが、仏教徒における奉仕の心ではないかと思えます。ご静聴ありがとうございました。

< 渡部会長 謝辞 >

わかりやすい仏教のお話しありがとうございました。2710地区ガバナーエレクトの東良輝さんは地区運営の基本方針として、「難しいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく」ということを掲げられています。本日の日域様のお話しは、難しい宗教の話をやさしく、わかりやすくお話しいただきました。本日の卓話をきいて、五木寛之の「親鸞」の本を読んでみたくなりました。これを機会に仏教、宗教について深く学んでいただければ、奉仕と世界の平和について考えが及ぶことになるのではないのでしょうか。本日の卓話、ありがとうございました。

米山功労者受賞

下田敬三会員が、米山功労者 第4回 マルチプルを受賞されました。



SMILE BOX

SMILE BOX

渡部邦昭 会員

大竹ロータリークラブ 日域学様、本日の卓話宜しくお願ひします。

森川和彦 会員、鈴木大次郎 会員、木村茂 会員、川端ひとみ 会員

大場君・下田君例会復帰おめでとうございます。また、宜しくお願ひ致します。

愛谷俊治 会員、大旗健 会員

先日は、傘寿、古稀の祝いを大勢の皆様にしていただき、深く感謝しております。ありがとうございました。

(愛谷俊治 80歳、大旗健 70歳)

佐野隆志 会員

この4月より長男が研修医となりました。給料がもらえます。長かった6年間の仕送りは終わりました。2年間、日大付属病院勤務です。いよいよ専攻科目を決めなければなりません。

下田敬三 会員

ロータリアンの友情に感謝。ジャイアンツの田口君、やってきました。アッパレ。

当日計	31,000円	累計	1,020,000円
-----	---------	----	------------